

学校だより

横浜市立都岡小学校



せんだん

6月号

令和8年5月29日

学校教育目標『ふれあい まなびあい そだちあい すくすく わくわく 都岡っ子』

授業がつなぐ「学校」と「地域」の輪

副校長 深沼 俊則

校庭の木々が青々と茂り、初夏の爽やかな風が吹き抜ける季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

早いもので、私がこの学校の副校長として2年目の春を迎えてから、2ヶ月が経とうとしています。学校全体の教育活動や子どもたちの日常を少し俯瞰して見られるようになった今、改めて強く実感していることがあります。それは、本校の子どもたちの学びが、校舎の壁を越えて「地域」という大きな舞台へと心地よく広がっている、ということです。

5・6月は、各学年で「総合的な学習の時間」や生活科、社会科などの授業が本格化する時期です。最近「行ってきます！」と校外学習に元気よく出かけていく子どもたちの声が頻りに聞こえてきます。「まち探検」で普段は意識していないまちの特徴に気づいたり、地域の方の田んぼをお借りして「代掻き体験」に挑戦したりしています。また、地域の方々から学校へ足を運び、植物の育て方を教えてくださったり、地域の行事や活動についてお話しして下さったりする機会もありました。こうした授業を通じた地域との関わりは、教科書を読むだけでは絶対に得られない「生きた学び」です。自分たちの成長を応援してくれる大人が周囲にたくさんいる。その実感こそが、子どもたちの自己肯定感を育み、地域への愛着や誇りへとつながっていくのだと確信しています。

学校の中だけで教育が完結する時代は終わりました。これからの時代を生きる子どもたちに必要なのは、多様な人々と協働しながら、実社会の課題に主体的に向き合う力です。地域の方々の知恵や経験に触れる授業は、まさにその力を養う最高の機会となっています。

同時に、子どもたちのエネルギーや純粋な笑顔が、地域の方々にとっての活力や癒やしになっているのならば、これほど嬉しいことはありません。学校と地域が「支え、支えられる」双方向のあたたかい関係であるよう、2年目の今年も、私は副校長としてその「架け橋」の役割をしっかりと担っていきたいと考えております。

今月は授業参観が予定されております。地域の中での様々な出会いを経て、また一回り逞しく成長した子どもたちの日常の学びの様子を、ぜひ学校へ足をお運びいただき、温かく見守っていただければと思います。

本格的な夏を前に、体調を崩しやすい時期でもあります。学校では健康管理や安全指導に万全を期してまいりますので、ご家庭でも引き続き温かいサポートをお願いいたします。今月もどうぞよろしく申し上げます。

新校舎B棟（体育館・プール・資料館等）見学会のお知らせ

先月の学校だよりでお伝えした通り、見学会を実施いたします。参加される方は、6/22（月）までに、下のQRコードよりお申し込みください。

日時 令和8年6月27日（土）10時集合
集合場所 都岡小学校 新体育館

*中原街道側の入口よりお入りください。

*上履きの用意をお願いします。

*コミュニティハウスは入室できません。



QRコードでの申し込みができない場合は、お電話にて受け付けます。学校（副校長）までご連絡ください。

TEL：045-951-2347